

令和2年度

# 事業計画書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

一般社団法人日本非破壊検査工業会

## 1. 基本方針

令和2年度は、当初から新型コロナウイルス感染症の急速かつ世界的な拡大に伴い、各国で経済活動の停滞、金融環境の変動、雇用・所得環境の不安など、経済の停滞や下落が生じている。また、先行きのリスクとして、通商問題を巡る動向、世界経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

わが国においても、新型コロナウイルス感染の終息が見通せないなか、感染拡大のリスク、経済活動の停滞や下落、企業の継続や雇用の不安、消費の落ち込み、金融環境の変動など、経済の下振れのリスクをはらんで令和2年度をスタートさせている。新型コロナウイルスに対しては、感染拡大を防止するとともに、経済の停滞、下落や金融の不安を解消するために補正予算を投入するなど、経済の下振れリスクへの対応を図っている。また、当初予算のなかでは、自然災害からの復旧・復興を加速するとともに、わが国経済の生産性向上や成長力の強化を通じて民需中心の持続的な経済成長の実現に繋げていく政策が進められている。加えて、潜在成長率の引き上げによる成長力の強化を目指し、Society5.0時代に向けた人材・技術などへの投資やイノベーションを企業の現預金を活用しての喚起や、生産性の飛躍的向上に向けた取り組みが推進されている。さらに、少子高齢化に真正面から立ち向かい、若者も高齢者も女性も障害や難病のある方も皆が生きがいを持ち活躍できる一億総活躍社会の実現に向け、「人づくり革命」及び「働き方改革」が推進されている。

このような環境のなかで、非破壊検査業界は、若年層の慢性的な人材不足、社会的ステータスの向上、また働き方改革の推進に於ける非破壊検査技術者の効率的な育成等の潜在的課題がある。また、デジタル技術の利活用が進む産業構造変革のなかでのビジネスモデルの転換、新たな価値を生むプレーヤー・市場の創出、非破壊検査業界を牽引する人材の育成、個社の成長力の強化等を図ることで、活力ある業界の成長が望まれる。

こうした情勢の中、当工業会は、非破壊検査の普及と振興を通じて、その社会的な地位と信頼性を高めるとともに、非破壊検査業並びに非破壊検査機器及び材料などの製造・販売業の健全な発展に寄与する活動を進めていく。

令和2年度は、「非破壊検査技術の高度化に関する調査・研究・開発」及び「非破壊検査の普及・啓発などに関する施策」を引き続き確実に推進するほか、主要事業である「非破壊検査に関する講習会、セミナーなど」や「非破壊検査に係る技術者資格認証」の事業を推進する。また、官公庁などの公的機関及び大学並びに業界関連団体との連携強化を図り、非破壊検査業界の発展と普及に努めていく。

令和2年度に実施する重点事業は次のとおりです。

### 1) 非破壊検査技術の高度化に関する調査・研究・開発の推進

非破壊検査技術の調査研究及び社会インフラの維持管理に係る技術開発を推進し、業界への普及促進を図る。また、非破壊検査業界の最近の技術動向、将来展望等を見据えた「技術討論会」を東京で開催する。

### 2) 非破壊検査の普及・啓発等に関する施策の推進

工業会会報の発行、業界動向調査や経営関連情報の収集と公開、経済・産業政策等の活用の促進を図ることで、非破壊検査業界の経営基盤の強化及び個社の成長力強化に貢献する活動を推進する。また、「働き方改革」推進の一環として、石油化学プラントの定修に係る「定

修会議」に参画し、労働環境改善に係る活動を開始する。

3) 非破壊検査に関する講習会、セミナーなどの実施

(1) コンクリート構造物の配筋探査技術講習会

「配筋探査講習会」と「配筋探査実技講習会」を関東、関西及び九州で開催するとともに、「構造体コンクリートの鉄筋位置とかぶり厚さ検査」に対応する「JASS 5 T-608 講習会」を開催し配筋探査技術の普及と探査技術の向上を図る。

(2) インフラ調査士講習会

国土交通省の登録資格である「インフラ調査士」試験のための「インフラ調査士講習会」のeラーニング化を図り、受験者の学習環境の整備を推進する。

(3) JIS Z 2305 受験対策講習会の推進

非破壊検査技術者の知識、技術の教育として、「JIS Z 2305 受験対策講習会」を関東及び関西において開催するとともに、受験対策としてのeラーニング講習会開講に向け計画に着手する。

(4) 新入社員のための非破壊検査基礎講習会

超音波探傷試験や浸透探傷試験等の非破壊試験6種目の実技実習を含めた基礎講習会を開催し、新入社員の基礎技術力の向上を図る。

(5) フェーズドアレイ超音波探傷器講習会

フェーズドアレイ超音波探傷技術の基礎と応用について、座学と実技の講習を開催し、超音波探傷実務技術者のアプリケーション対応能力の向上を図る。

(6) NDT 塾

非破壊検査中堅技術者のための技術講習会として開催し、最新技術動向や適用技術の能力向上を図るとともに、技術者交流による技術深化を推進する。

4) 非破壊検査に係る技術者資格認証の実施及び普及

(1) コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証事業

「配筋探査技術者(土木)資格認証」及び「配筋探査技術者(建築)資格認証」の資格試験を、関東、関西及び九州で開催する。また、「配筋探査技術者(土木)資格再認証試験」の定着を図り、資格者の技量の維持向上に努める。

(2) インフラ調査士資格認証事業

国土交通省の登録資格である「インフラ調査士」の資格認証試験を、年2回開催する。また、受験しやすい資格制度の在り方の検討を継続的に進めるとともに、「鋼橋」、「コンクリート橋」、「トンネル」、「付帯施設」(舗装、附属物他)資格の更なる活用につなげるための普及活動を推進する。

5) 経済産業省、国土交通省、厚生労働省などの官公庁及び大学や研究機関並びに非破壊検査関連の諸団体との連携強化を図り、非破壊検査技術の普及並びに非破壊検査業界の発展に係る活動を推進する。

## 2. 事業計画

### 2.1 認証事業

#### 1) 担当部署：認証部会

コンクリート構造物の配筋探査及び測定を実施する配筋探査技術者（土木）及び配筋探査技術者（建築）の資格試験を実施し、技術者資格の認証を実施する。また、再認証試験により、資格者の技量の維持向上に努める。

国土交通省の登録資格であるインフラ調査士の資格認証試験〔対象施設は、橋梁（鋼橋、横断歩道橋）、橋梁（コンクリート橋）、道路トンネル、舗装、土工構造物、道路附属物（標識、照明施設等）〕を年2回実施する。また、インフラ調査士の更なる活用につながるための普及活動を推進する。

#### 2) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
認証部会、認証運営委員会	2	9月、3月
諮問委員会	1	7月
内部監査委員会	1	3月
査定委員会	4	6月、9月、12月、3月
配筋探査試験委員会	2	9月、3月
配筋探査問題管理委員会	2	9月、3月
インフラ調査士試験委員会	2	6月、12月
インフラ調査士問題管理委員会	2	9月、3月
共通問題管理小委員会	2	7月、1月
鋼橋問題管理小委員会	2	7月、1月
コンクリート橋問題管理小委員会	2	7月、1月
トンネル問題管理小委員会	2	7月、1月
付帯施設問題管理小委員会	2	7月、1月

#### 3) 資格試験

資格試験名称（略称）	種別	区分	回数	実施予定
配筋探査（土木）	学科	新規	2	5月、12月
配筋探査（建築）	学科	経過処置	2	5月、12月
配筋探査（土木）（建築）	実技	新規	2	8月、2月
配筋探査（土木）	実技	再認証	2	8月、2月
インフラ調査士	学科	新規	2	5月、11月
インフラ調査士	実務	新規	2	7月、2月
インフラ調査士 更新試験	eラーニング	更新	2	5月、11月

配筋探査：検規 6501「コンクリート構造物の配筋探査技術者認証基準」による認証試験

インフラ調査士：検規 6001「インフラ調査士技術者認証基準」による認証試験

## 2.2 教育事業

### 1) 担当部署：教育部会

「配筋探査技術者」、「インフラ調査士」資格取得のための教育講習を継続開催する。また従来の講習会を、受講者の目線に立ち、より良いものにすべく検討し、改善を図る。新規事業として、「JIS Z 2305 WG」を立ち上げ、JIS Z 2305 試験対策用の講習をeラーニングにて実施できる教育ツールを構築する。新たな講習会として、「インフラ調査士実技講習会(仮称)」の企画を検討する。

### 2) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
教育部会	3	5月、11月、2月
JIS Z 2305 WG	2	5月、11月
インフラ調査士補資格化検討WG	2	—

### 3) 各種講習会

講習会名称(略称)	種別	地区	実施予定
配筋探査	座学	東京・大阪・北九州	4月、10月
JASS5 T-608	座学・実技	東京・大阪	4月、10月
配筋探査実技	実技	東京・大阪・北九州	8月、2月
インフラ調査士	座学	東京	4月、10月
インフラ調査士更新	eラーニング	—	3月～5月 9月～11月

## 2.3 部会、委員会活動

### 1) 総務部会

#### (1) 事業計画

本会の事業活動の適切かつ円滑な遂行と本会の管理・運営を適正かつ公正に行うための基本的な事項並びに事業部門の組織横断的な課題及び官公庁等公的機関や関連諸団体との調整・連携に係る業務を遂行している。

令和2年度は、工業会運営組織のスリム化や会員種別の在り方等の組織改革の検討に着手するとともに、国が推進している働き方改革に対する業界対応として石油化学プラントの定修会議へ参画し定修環境の整備に努めていく。また、配筋探査やインフラ調査士資格の更なる普及を推進するために受験しやすい環境への改革や、他団体との連携の模索等、認証事業の普及活動に注力していくとともに、配筋探査技術者やインフラ調査士資格者が活躍できる場の整備に尽力する。

また、2022年1月5日に創立50周年を迎えるにあたり、50周年記念事業実行委員会を設立し、50年史編纂と記念事業の計画に着手する。

## (2) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
定時総会	1	5/29
理事会	6	4/21、5/29、8/20、10/29、1/13、3/25
総務部会	4	6/24、7/30、12/17、2/25
改革委員会	2	—
働き方改革委員会	1	—
インフラ調査士企画運営委員会	1	—
認証事業普及活動委員会	1	—
50周年記念事業実行委員会	1	—
50年史編集委員会	1	—
記念事業委員会	1	—

## 2) 技術部会

### (1) 事業計画

本年度からシーズ委員会を統合した開発委員会を中心に、非破壊検査業界の抱える技術的課題に対し、会員会社の技術発表・アドバイザー（大学・研究機関）の講演・助言を通して、非破壊検査技術に対する知見を深め、現状埋もれているシーズの掘起しや非破壊検査技術の向上に努め、新たな事業の創出を図る。

標準積算資料の充実を目的に、広報部会の標準積算検討委員会と連携して、標準積算資料に記載のある手順書検査手法について、未だ標準手順書のないものを、参考資料として順次作成する。

時代にタイムリーなテーマで技術討論会を実施し、参加各位の今後の事業展開や活動のための情報源として役立つよう、成果の普及を図る。

経済産業省、国土交通省などの官公庁からの依頼業務については、必要に応じてWGを作り、積極的に取り込む。

また、公的機関などの研修会等への指導員・講師の派遣、Webサイト等による外部からの質問・問合せに対する指導・助言をし、非破壊検査業界の発展に係る活動を推進していく。

### (2) 部会・委員会・WG

部会・委員会名	回数	実施予定
技術部会	3	4/15、10/22、2/12
開発委員会	4	6/25、9/11、12/18、3/26
標準化委員会	3	4/15、10/22、2/12
技術討論会実行委員会	3	4月、6月、8月
屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策に係るWG	3	5月、9月、1月

(3) 技術討論会

展示会名称	担当	開催予定	会場
技術討論会	機材・東日本	9/17	きゅりあん 小ホール

(4) 関連団体支援

関連団体	内容	備考
国土交通省	河川技術評価委員会	委員派遣
消防庁	危険物施設の長期使用に係る調査検討会	委員派遣
危険物保安技術協会	新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会	委員派遣
危険物保安技術協会	コーティング上からの溶接線検査に係る検討委員会	委員派遣
新都市社会技術融合創造研究会	鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究	委員派遣

3) 広報部会

(1) 事業計画

非破壊検査の発展・普及及び非破壊検査業の経営課題や経営基盤強化に関する施策として、非破壊検査業界の景気動向調査や経営実態調査等を実施し、調査集計結果等を工業会会報及び非破壊検査業界の経営実態に関する調査集計報告書等で、会員企業にフィードバックを行う。

情報提供及び普及活動の一環として、「インフラ調査士だより」のメール配信、JIMA 2021（第10回総合検査機器展）への出展及び国土交通省地方整備局等の官公庁や関係団体が主催する研修会・講習会への講師派遣等を行う。また、統一したテーマの下での経営交流会特別講演を実施する。

(2) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
広報部会	4	6月、9月、11月、3月
標準積算資料検討委員会	2	6月、9月
展示会委員会	3	5月、7月、1月

(3) 展示会

展示会名称	区分	開催予定	会場
JIMA2021 (第10回総合検査機器展)	出展	2021年2月17日～19日	東京ビックサイト 西展示棟

#### (4) 出版

出版物名称	回数	発行予定	部数
工業会会報	4	6月、9月、1月、3月	1,250
工業会案内	1	10月	1,200
経営実態に関する調査集計報告書	1	3月	350
非破壊検査「標準積算資料」第11版	1	6月	500

#### (5) 関係団体他支援

関係団体	内容	予定
国土交通省関東地方整備局	道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅱ）	9、11月
国土交通省東北地方整備局	道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅱ）	11月
国土交通省四国地方整備局	道路構造物管理実務者研修（橋梁初級Ⅱ）	11月
国土交通省九州地方整備局	道路構造物管理実務者研修（橋梁初級Ⅱ）	8月
労働大学校	労働行政職員の養成研修（検査業務専門Ⅱ研修）	10月
日本鑄造工学会	鑄造品の超音波試験技術者養成講習会	6月
危険物保安技術協会	コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会	2月

#### 4) 安全部会

##### (1) 事業計画

労働安全衛生管理と環境改善等に関する施策の立案とその推進を図る。また、放射線障害防止法に係る非破壊検査の安全管理の施策の企画立案と啓発・普及活動と無災害労働時間の調査と表彰、安全衛生標語募集とポスターの発行などの活動により、安全に対する意識高揚を推進する。

放射性同位元素等安全管理委員会は、放射性同位元素取扱事業者の放射線取扱主任者で構成され、原子力規制庁の業界団体窓口として、省庁の指導を受けて法改正や諸届出要領の周知を図るとともに、省庁への意見・要望を行う。先般の改正法令に関する審査ガイド策定に向けて、原子力規制庁等監督官庁から意見聴取の要請に対して対応する。

放射線影響協会放射線従事者中央登録センターから放射線管理手帳発効機関として認定を受けている。発行業務を4発行事業所（関東、関西、中国、九州）で実施し、事業者への指導・助言を行う。

##### (2) 部会・委員会

部会・委員会名	回数	実施予定
安全部会	2	7月、11月
放射性同位元素等安全管理委員会 委員会	3	6月、9月、令和3年3月
同委員会 大会	1	6月
同委員会 監督官庁等からの要請会議	3	
放射線管理手帳発効機関連絡会議	1	11～12月



## 2.4 支部活動

支部は「非破壊検査の普及・啓発、非破壊検査の新たな市場創出に向けた活動の推進、並びに地位の向上」を目指し、事業に取り組む。本部の部会で計画・立案された事業計画に基づく活動計画並びに支部独自の事業計画を策定し、本部と支部の連携のもとに活動を展開する。また、支部大会、秋季例会を開催し、講演会、経営交流会など趣向を凝らした活動を行う。

### 1) 東日本支部

#### (1) 支部事業

名 称	回数	実施予定
支部大会	1	6 月
年末例会	1	12 月
NDI 資格取得のための教育訓練講座	2	9 月、3 月
事業所見学会	1	11 月

#### (2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	5	5 月、7 月、10 月、12 月、2 月

#### (3) 認証事業・教育事業

名 称	回数	実施予定
配筋探査認証事業 学科試験	2	5 月、12 月
配筋探査認証事業 実技試験	2	8 月、2 月
インフラ調査士学科試験	2	5 月、11 月
配筋探査講習会	2	4/30、11 月
配筋探査実技講習会	2	8 月、2 月
JASS 5 T-608 講習会	2	4 月、10 月

### 2) 関西支部

#### (1) 支部事業

名 称	回数	実施予定
支部大会	1	6 月
9 月例会兼経営交流会	1	9 月
賀詞交歓会	1	1 月
JIS Z 2305 レベル 2 一次試験受験対策講習会	2	9 月、3 月
JIS Z 2305 再認証者向け実技講習会(UT)	2	8 月、2 月

(2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	6	4月、7月、10月、12月、2月、3月

(3) 認証事業・教育事業

名 称	回数	実施予定
配筋探査認証事業 学科試験	2	5月、12月
配筋探査認証事業 実技試験	2	8月、2月
インフラ調査士学科試験	2	5月、11月
配筋探査講習会	2	4/28、11月
配筋探査実技講習会	2	8月、2月
JASS 5 T-608 講習会	2	4月、10月

3) 西日本支部

(1) 支部事業

名 称	回数	実施予定
支部大会/親睦会	1	6/3、4
秋季例会/親睦会	1	9/10、11
秋季合同例会	1	10/14
秋季合同例会 見学会/親睦会	1	10/15、16
技術交流会/親睦会	1	11/13、11/14
新年例会	1	1/28
アンケートによる講座	1	1月

(2) 幹事会

名 称	回数	実施予定
幹事会	7	4/2、6/3、7/2、9/10、12/3、1/28、3/4

(3) 認証事業、教育事業

名 称	回数	実施予定
配筋探査認証事業 学科試験	2	5月、12月
配筋探査認証事業 実技試験	2	8月、2月
インフラ調査士学科試験	2	5月、11月
配筋探査講習会	2	4/27、11月
配筋探査実技講習会	2	8月、2月

#### 4) 機材支部

##### (1) 支部開催行事

行事名	回数	実施予定
幹事会	4	5月、9月、12月、令和3年3月
支部大会	1	6/8(大田区産業プラザ Pio)

##### (2) 委員会

専門分科会	回数	実施予定
UT分科会	3	令和2年2回、2月(JIMAとの機器市場統計調査会を含む)
RT分科会	3	6月、9月、12月
計測分科会	5	4月、6月、10月、11月、令和3年2月
TT分科会	3	5月、9月、12月

##### (3) 講演会、展示会、セミナー及び見学会

名称	担当	実施予定
NDT塾	技術委員会	1月(第2回)
フェーズドアレイ超音波探傷器講習会	UT分科会	8月(第17回)
放射線透過法による検査事例と適用機器講習会(日本工業出版主催)の支援 ※JANDT後援	RT分科会	令和3年3月(第4回)
関連施設・設備見学会(詳細未定)	計測分科会	11月
他協会有識者を招聘しての合同分科会	TT分科会	令和3年3月

## 2.5 対外活動

今年度は、日本経済再生に向けた国の経済対策に対応して、高齢化・老朽化した社会インフラの安全性の確保と長寿命化のための検査診断技術や、検査手法の開発・実用化並びにその活用と普及に関し、経済産業省や国土交通省並びに地方自治体等との連携協力を促進するとともに、非破壊検査業界の関連団体との緊密な連携を図り、非破壊検査の発展と普及に向けた活動を強化推進します。また、下記に示す外部委員会へ積極的に参加し、相互理解と連携協力の促進に努めます。

- (1) 日本非破壊検査協会 諮問委員会 外4委員会
- (2) 日本溶接協会 溶接検査認定委員会
- (3) 国土交通省 河川技術評価委員会
- (4) 国土交通省 新都市社会技術融合創造研究会
- (5) 総務省消防庁 危険物施設の長期使用に係る調査検討委員会
- (6) 危険物保安技術協会 新技術を活用した危険物保安施設の保安設備等に関する研究会
- (7) 危険物保安技術協会 コーティング上からの溶接線検査に係る検討委員会
- (8) 全国危険物安全協会 地下タンク等定期点検実施制度運営委員会
- (9) 日本エルピーガスプラント協会 大会審査委員会
- (10) 放射線障害防止中央協議会